

チヨークアートの世界

卷頭特集 多治見市在住のアーティストが語る

力フェやレストランのメニュー、ウェルカムボードなどで
目にする機会の多いチヨークアート。

商業デザインのひとつで、近代アートとしても人気だ。
今号で紹介する3人のアーティストたちも、
その魅力に惹かれ、未経験からこの世界に飛び込んだ。
なぜチヨークアートに魅了されたのか。

3人の活動を通じて、チヨークアートの世界に迫る。



動物の眼差しが愛おしく、被毛のグラデーションも見事。「amazing TOKI」では水面に映る逆さ紅葉、シテコブシ、食品の照りやツヤなどまで繊細に描かれている



市内のペットサロン、動物病院などの看板やディスプレーボード。「イメージに近い画像や写真を見せ、できるだけ具体的に希望を伝えるといいですよ」と依頼する時のポイントを教えてくれた



虎渓山永保寺をはじめとした名所や美濃焼などの名物が描かれた「Amazing TAJIMI」、誕生日記念ボードなど、伊藤さんの作品はコントラストが強く、色鮮やかで印象に残る



チヨークアートって?
オーストラリアの看板職人たちによって発達した手描き看板がルーツ。用いるのは専用塗料を塗った黒板に、オイルパステル。筆、ペンは使わず、指先で色彩豊かなイラストを描く、凝ったレタリングを加えるなど、人目をひくデザインに仕上げてモチーフやテーマをアピールする

おり兵衛のチャームポイント
頭の笠の制作テクニックを紹介!



10年前、家業の木工所を手伝いながら、地元のケーキ店へ10年以上勤めていた倉知裕子さんは、テレビ番組に映ったチヨークアートに興味を持った。小さな頃から絵を描くことが好きで、ケーキ店のメニュー、ボードや黒板などを手描きで制作していった倉知さんにとって、チヨークアートは自分の趣味と特技が生かせる仕事に感じられた。ワクワクしながらチヨークアートの世界に飛び込み、名古屋の教室に

3 モチーフが最も輝く瞬間を捉え
感じられる作品で個性を
作品にいのちを宿したい
倉知裕子さん

野村明日香さんは動物看護師として3年間勤務した後、ワーキングホリデーで1年間、オーストラリアで過ごした経験がある。動物のいる農場を巡りながら、チヨークアート発祥の地で本場作品の数々を目にした。その後、地元に戻つて再就職。結婚や子育てを経るなかで矢のように時間が流れ、本格的にチヨークアートを学んだのは30代に入つてからだった。渡豪の影響か、野村さんの作品は配色などにオーストラリアのティ

オーストラリアンアーティストが
感じられる作品で個性を
作品にいのちを宿したい

TAJIMI
CHALK ART
ARTIST
Walnuts Chalk Art
Asuka Nomura

野村明日香さん



ストを感じさせる。日本の

作品と趣が異なる独特の雰

囲気は好評だ。

「作品を見せた時、お客様の笑顔が華やぐその瞬間が最高にうれしいし、やりがい」。そう微笑む野村さんは、動物がモチーフの作品依頼が多数寄せられる。ペットなど実際のモデルがいる場合は、特徴を捉えて似せるのが腕の見せどころだ。写真とは違い、リアル過ぎてもチヨークアートらしくなく、デフォルメの

仕方や度合いもまた野村さんの個性として好まれている。

実際に触れ、知つてもらえる機会をと、地域のフリーマーケット、イベントにおいて、親子で体験できるワークショップを企画中。指で直接描くチヨークアートは小さな子どもも挑戦できる。アートの輪が広がる日が待ち遠しい。

通つてわずか1年。ケーキ店での仕事も続けながら、少しずつチヨークアートの仕事を増やしていく。

「いのちがあるモチーフは、どの瞬間を切り取つて描くのかがとても重要」と話す倉知さんは、その言葉通りとても細やかに動物や植物を描き上げる。ペットの場合は飼い主から何枚もの写真を取り寄せ、飼い主が一番好きな表情を切り取つて描く。最後に描き入れる目は、大きさや向

き、色の濃淡で大きく印象が変わるために難しい。目を入れて瞬間に「かわいい」と思えた時は、胸をなで下ろすという。

昨年、生花店を営む男性と結婚した。店先を飾るのはもちろん倉知さんが丹精込めたボードで、花々の香りと共に客を誘つてている。



Instagram
@yuko_nico